

愛媛コミュニティ支援プログラム 「ふれあい喫茶」 活動報告

2018.12.20 (木) 18:30-20:30

飯田橋セントラルプラザ12階会議室

吉田の皆さん、
たくさんの「ふれあい」と「やさしさ」
本当にありがとうございました。

10月4日(木)～12月1日(土)まで、
述べ、1,298人のみなさんと、
東京からのメンバー51人とが
交流を深めることができました。

プログラム実施に至るまで...

- 7月中旬…東京都とTVAC、アクションプラン推進会議幹事団体合同で被災地調査（岡山県・広島県・愛媛県）
- 7月下旬…愛媛県を中心としたコミュニティ支援の実施を目指して、東京都や各団体と調整していく方向性がまとまる。
東京都が財政支援を決定。
- 8月中旬…愛媛県庁・県社協、宇和島市社協と打合せの結果、本プログラムを実施することが決定。
- 9月中旬…喫茶実施場所の候補地を視察。宇和島市内の関係団体との調整。
- 10月上旬…プログラム実施。

プログラムの目的・概要

- 期間
2018年10月4日（木）～12月1日（土）
- 目的
7月豪雨により、宇和島市吉田町でのコミュニティでのつながりが薄れたり、壊れてしまわないよう、地域での情報交換の場や支えあいの場づくりを行う。
- 内容
コミュニティ支援の一環として、宇和島市吉田町でのサロン活動（移動喫茶活動）に取り組む。

吉田町 1 2 か所でふれあい喫茶を実施しました

- 月曜：喜佐方 沖村コミュニティセンター
立間 河内下集会所
奥南 船間公民館
- 火曜：吉田 御殿内集会所
- 木曜：喜佐方 河内上個人宅倉庫
玉津 深浦公民館
玉津 白浦コミュニティセンター
- 金曜：玉津 玉津公民館
立間 立間公民館（出張喫茶：高城、医王寺下団地）
吉田 北小路三区集会所
- 土曜：吉田 吉田公民館
奥南 南君西公民館

参加者の声

- わたしもいろんな人に声をかけてきたのよ。
- ホットケーキ、チラシの通り3段じゃないじゃないー（チラシは2段）
- 床下浸水の方は水をもらえないと思ってた。今日はじめて知ったよ。
- 立間ではサロンは実施していないのか？
- 家は平気だったが、車両が使いなくなった
- ミカン倉庫が全壊した。
- （他の参加者に対して）あなたの家は大丈夫だったの？
- ありがたい。日中家にこもりがちで、集まれる場があると良い。
- 公民館で物資がもらえるなんて知らなかったよ。
- 吉田地区は津波が来たら山に逃げるように言われてきたけど、今回は山から水が出たから、もう逃げるところがないね
- この辺りは高齢になっても車を手放さない人がいる。買い物や病院に行けなくなってしまうので、バスは一日三便しかないから。
- 遠くから皆さんが来てくれたので、お礼が言いたくてサロンに来たよ
- やっと落ち着いてきたところなので、この時期の支援はありがたい。
- 被災後、いのししが自宅の畑に来るようになり野菜が作れない。
- 支援物資等の情報が地域で共有されていない、情報が入りにくい人ほど支援が必要なのに。

参加者の声

- 用水路の蓋が流れてしまったところに落ちてけがをしたけど病院に行けなかった。
- 30分かけて歩いてきたよ
- 足の悪い高齢者が多いので近くで開催されて良かった
- 水の匂いがまだあり、現在も水の購入をしている
- 収納がだめになり、片付けができない状況になっている
- 久しぶりにみんなに会えてうれしかった
- いつも行っている昼～夕方までいられるサロンがお休みの為、居場所があって嬉しい。
- 災害のときには鈴木医院が井戸水、洗濯機を提供してくれた。
- 行きたいけど昼間は忙しくて行けない。夜やってくれたら行けるのに
- 子どもたちの校歌とイルフィオーレさんのハンドベルが良かった
- こうして色々やってくださるのは、とてもありがたいが、どう返していいのかわからない
- 以前はお祭りなど盛大に行っていたが、どんどん子どもが少なくなっていて寂しい
- みかんが取り切れなくて、だいぶダメにしているものがある
- 断水時、高齢者はポリタンクを運べなかったが住民で助け合った

チラシ撒き

- ふれあい喫茶の広報は、地域を歩き、チラシを一軒一軒ポスティングをしました。
- 地域を歩くことで、喫茶に来られない方とも交流する機会になりました。
- また、「まだボランティアっているの？泥出しお願いできるかしら...」と被災された方の困りごとを拾う機会にもなりました。



社会福祉協議会との連携

- プログラムを実施する前から事前に社会福祉協議会に相談。ふれあい喫茶実施場所は、宇和島市社協と相談して決めていった。
- また、喫茶実施時には、社協の職員がほぼ必ず参加してくださり、個別の相談などは社協職員につなぐようにしました。



コープえひめの協力

- プログラム実施にあたっては「コープえひめ」にたくさんの支援をしていただきました。
- ホットケーキづくりのための、たまご、牛乳をはじめお菓子類の提供。また、10月頭には、喫茶のチラシを宅配時に配布してくれました。



ボランティア・市民活動団体との連携

- 松山市や宇和島市内、三間町から様々な支援の問合せがありました。喫茶の場を活用してもらい、様々な支援が行われました。



多様なメンバーがチームで活動

- 今回のプログラムは、都内の多様な団体からメンバーを募りました。
 - 区市町村社会福祉協議会、ボランティアセンター、中央労働金庫、生活協同組合、連合東京ボランティアサポートセンター、東京災害ボランティアネットワーク、国際協力NGOセンター (JANIC)
- 全員が赤い帽子をかぶることで「東京チーム」として活動しました。1週間のチームと3泊4日のチームでバトンをつなぎました。
- 事前に説明会を開催し、被災地の状況や活動内容について事前に把握した上で活動にのぞみました。



